

かけはし

令和6年度 富士市立今泉小学校
—学校教育目標— 10月号
「やさしく たくましく」

※今号の枠の色は、SDGsの17の目標をカラーで表したうちの1つ「YELLOW」です。

校長

前期の終わりを迎えて

夏休みが終わり、早くも1か月が過ぎようとしています。まだまだ残暑が厳しく、教室のエアコンをフル稼働しながら暑さをしのいでいます。7月号でお知らせした図書室、理科室、音楽室へのエアコン整備は完了し、気持ちよく理科の実験や音楽の合奏などの活動も行えるようになりました。

長い休み明けの久々の登校で、体調を崩す子供も若干いましたが、ほとんどの子供が元気に学習や遊びに取り組みました。低学年の子供たちは、水筒を持ち、帽子をかぶって暑さ対策をし、小さな生き物探しに夢中になりました。小さなダンゴムシから10cm近くもあろうかという大きなバッタなどさまざまな生き物を見つけ、苦勞の末捕まえてきます。そして「何を食べるのかな。」「草の中にいたから虫かごの中にも草を入れよう。土も必要かな。」「自分たちと同じように、きっと水を飲むから入れてあげよう。」などと、図鑑を見たり自分の経験を振り返ったりしながら、小さな友達が過ごしやすい環境を一生懸命考えます。ある子供は「本当にカマキリはカニカマを食べるんだよ。」と目を輝かせて話していました。WEBを検索してみると、確かにそういった記事が見つかりました。きっとそれを見て、「本当に食べるのかな。」という疑問を持ち、自分が捕まえたカマキリに与えてみたのだと思います。伝聞で得た情報を、経験を通して確かな自己の知識に変えることができました。

さて「認知能力」「非認知能力」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。それぞれ、

- 認知能力とは、計算力や語学力といった学力テストなどで測れる能力のこと
- 非認知能力とは、コミュニケーション力や意欲、忍耐力など、数値での測定が難しい能力のこと

※SDGsの17の目標をカラーで表したうちの1つ「DARK GREEN」です。

とされています。非認知能力の重要性は、アメリカ人・経済学者のジェームズ・ヘックマン教授が「子供たちが社会経済的に成功をおさめ、ウェルビーイングな生き方につながるためには、学力やIQを伸ばすことよりも目標達成を諦めない力や、自制心といった非認知能力を育成することが重要である」と提唱していて、それが近年注目されています。この力は主に4歳～5歳の幼児期に大きく発達し、学童期・思春期に伸びていくと言われています。そこで育まれた力が、子供たちのその後の人生を生き抜く力の土台となっているのです。

学校では、先日お伝えした学校評価の結果なども踏まえながら前期の教育活動を振り返り、後期の活動に生かしながら子供たちの健やかな成長を支えていきます。引き続きご協力をお願いします。

11月のおもな予定

学習がぐんぐん充実してきました

本校では、実物に触れたり、実際に体験したりして、より実感を伴った学習となるよう配慮しています。また、全員で一斉に同じ時間に同じ内容を取り扱って学習する方法だけでなく、一人一人の生活経験や、既習事項への理解度等の違いに着目し、子供自らが順番や形態を選んで学習する方法も取り入れています。

5年 総合学習

友達と対話したり、説明書を読み込んだりして、ミニロボットを組み立てる

自分の学びに見通しをもち、そのために今何が必要かを考え行動できる力を、今後ますます育ていきたいと考えています。

2年 図工

本物の野菜を手に取り、触感などから自由に想像を広げて描く

草取り・側溝・池の清掃 ボランティア募集 10月から12月 毎週火曜 午前10時～正午

先日のPTA奉仕作業では、多くの保護者の皆様にご協力いただいたおかげで、校地内の草が減ってとてもすっきりしました。ありがとうございました。

しかし、なかなか職員の手だけでは、管理が行き届かず、この美しい環境を維持することが難しい状況です。そこで、このたび、CS活動の一つとして、「今泉小学校をきれいにしよう大作戦」に参加してくださる方を募集します。毎週火曜の午前10時から正午までの間で、協力可能な時間がある方は、ぜひご参加ください。お待ちしております。

放課後の過ごし方について

後期の帰宅完了時刻は午後4時半です

日が落ちるのが早くなってきました。辺りが暗くなってから帰宅するのは大変危険です。4時半までには必ず家にいるよう、学校では指導します。ご家庭でも確認をお願いします。

遊ぶ場所にあった遊び方をしましょう

公園での遊び方について、地域の方からご意見をいただきました。

外で元気に遊ぶことはとてもよいことです。その中で、周りに住んでいる人や他の遊びをしている人の思いや状況を想像し、どこでどんな遊び方をすると安全に楽しく過ごせるのか考える力を身に付けていくことが学びとなります。また、万一、公共のマナーに合わない遊びをしてしまったときは、素直に反省し、次に生かそうとする心を育ぶことも大切な学びだと考えています。

放課後の遊び場所として、学校の運動場は、随時開放しています。また、学区外の広い公園に行きたい場合は、保護者の方と話し合って決めるよう指導しています。ご家庭でも、地域での遊び方について、今一度話題にしていだけますと幸いです。